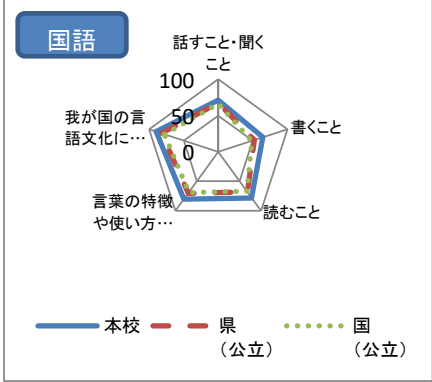


# 令和4年度全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画について【国語】

海田 小学校

本年度正答率(本校77%, 県67%, 国65.6%) 本年度の結果について



○全体的な傾向について  
全体の正答率は、77%で全国平均を11.4%上回った。広島県平均と比較しても基礎的・基本的な知識や活用については一定の定着が見られる。また、問題形式でみると、選択式の正答率は83.3%であるが、記述式は59.9%と低い。「書くこと」に課題があり、特に、感想や意見の交流後で自分の文章のよいところを見つけ、表現する点に課題がある。

○昨年度の課題への取組の成果  
筆者の意図や問題の意図に応じるために、読む観点を明確にし、文章に線や矢印を引きながら読む習慣をつけるようにしてきた。その成果が大問2「読むこと」の領域で表れていた。一方、「書くこと」においては、要約するための情報の見付け方を指導し、書く活動を意図的に設定したが、根拠を挙げて書いたり、よさを伝え合ったりすることに課題が残る。

重点課題
【課題1】 大問1(4)互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができていない。(正答率54.2%)
【課題2】 大問3(2)文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができていない。(正答率44.1%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)	全校での目標(キャッチフレーズ)
・読む力(読み取る, すらすら読む) ・自分の考えをもったり, 自分の考えに気付いたりするために, 話し合う場面を意図的に設定する。	<振り返りの活用> 自己評価 ↓ 他者評価 ↓ 俯瞰的自己評価
振り返りの充実(他者評価から自分の良さに改めて気づき, 再度表現する振り返りなど)	

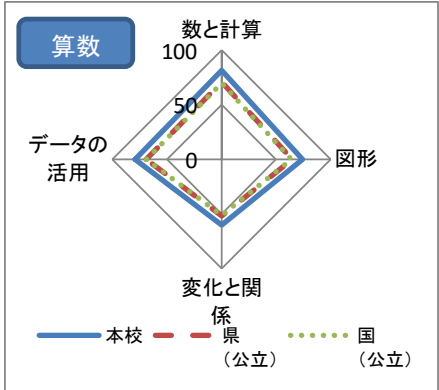
令和5年度 全国学力・学習状況調査 数値目標
全体【80】 話すこと・聞くこと: 75 書くこと: 70 読むこと: 85 言葉の特徴や使い方に関する事項: 85 我が国の言語文化に関する事項: 90

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	どちらを選びますか(5年)…対話の練習	みんなで楽しく過ごすために(6年) よりよい学校生活のために(5年) …立場を明確に話し合う。共有 ・全国学力再テスト(6年)		全学年標準学力検査		・今、私は、ぼくは(6年) ・提案しよう、言葉とわたしたち(5年) …読得力ある提案 ・全国学力再テスト(6年)	5年生 全国学力学習状況調査過去問
目標値	単元テスト80%	単元テスト80%		全国平均を上回る	85%	単元テスト80%	75%
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	・利用案内を読もう(6年)	・グラフや表を用いて書こう(6年)…資料を活用して意見文を書く。 ・全国学力再テスト(6年)		全学年標準学力検査		・全国学力再テスト(6年)	5年生 全国学力学習状況調査過去問
目標値	単元テスト80%	単元テスト80%(5年)		全国平均を上回る		85%	75%
実施後数値							

# 令和4年度全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画について【算数】

海田 小学校

本年度正答率(本校 74%, 県 64%, 国 63.2%) 本年度の結果について



○全体的な傾向について  
 全体の正答率は、74.0%で全国平均を10.8%上回った。広島県平均と比較しても10%上回っている。領域別にみると、変化と関係(割合)領域、%数に関わる問題に課題が見られる。変化と関係(割合)領域では、割合の意味理解ができていないこと、割合と概数ともに生活場面で捉えられていないなどの課題がある。

○昨年度の課題への取組の成果  
 意味を自分の言葉で説明することを重視する授業を積み上げてきているので、記述問題に成果が出ている。継続して、各学年で自分の言葉で説明することを大切に授業をする。

重点課題
【課題1】 大問2(3)示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解できていない。(正答率16.9%)
大問1(4)示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を理解できていない。(正答率37.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)	全校での目標(キャッチフレーズ)
<ul style="list-style-type: none"> <li>線分図をもとに考える習慣をつける。</li> <li>線分図を書かせるとき、量感を伴って書かせるようにする。</li> <li>日常生活と結びつくような活動を取り入れる。</li> </ul>	量感・実感・体感
<ul style="list-style-type: none"> <li>概数の学習の際、「四捨五入」「切上げ」「切捨て」のそれぞれの意味理解だけでなく、生活の中から使えそうな場面と結び付ける場(課題の工夫、ふり返りなど)を設定する。</li> </ul>	生活場面のどこで使えるか?

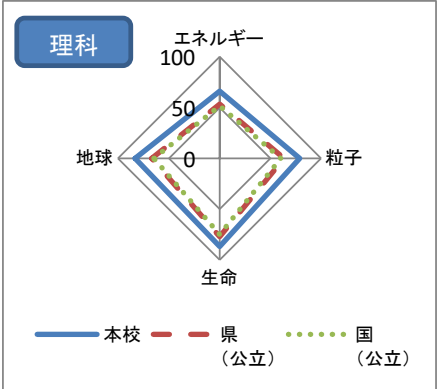
令和5年度 全国学力・学習状況調査 数値目標
全体【75】 数と計算:78 図形:75 変化と関係:65 データの活用:75

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	6年生 全国学力再テスト	5・6年生 算数のツボ	5・6年生 算数のツボ	全学年 標準学力検査	6年生 全国学力再テスト	5・6年生 算数のツボ	5年生 全国学力学習状況調査過去問
目標値	80%	80%	85%	全国平均を上回る	85%	85%	80%
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	6年生 全国学力再テスト	5・6年生 算数のツボ	5・6年生 算数のツボ	全学年 標準学力検査	6年生 全国学力再テスト	5・6年生 類似問題	5年生 全国学力学習状況調査過去問
目標値	80%	80%	85%	全国平均を上回る	85%	85%	80%
実施後数値							

# 令和4年度全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画について【理科】

海田 小学校

本年度正答率(本校 78%, 県 66%, 国 63.3%) 本年度の結果について



○全体的な傾向について  
 全体の正答率は、78%で全国平均を14%上回った。広島県平均と比較してみても10%以上上回っており、基礎的・基本的な知識や活用については、一定の定着が見られた。問題形式で見ると、どれも全国平均を大きく上回っているが、とりわけ記述においては、26%上回っていることから記述式の課題の改善が際立った。領域別に見てみると、A区分では、「エネルギー」が66%と他領域と比べると正答率がやや低い傾向がある。

重点課題
【課題1】 大問3(1) 問題の意図を適切に読み取ることや光の性質を十分に理解することが出来ていない。(正答率28.8%)
【課題2】 大問4(3) 図表やグラフの情報の正しい読み取りや数量の変化を見て内容をとらえることができていない。(正答率55.9%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)	全校での目標(キャッチフレーズ)
<ul style="list-style-type: none"> <li>問題文に書かれている条件を正しく読み取る</li> <li>解答した後に見直しをして、解答の整合性を図るようにさせる。</li> <li>生活や経験と結び付けて考える</li> </ul>	自分を疑え！
<ul style="list-style-type: none"> <li>グラフや表の数値や単位、変化の仕方など情報を整理してから、問題に取り組むように、算数とも関連させるようにする。</li> <li>季節や時刻によってどのように気温が変化するのか、実際に温度計を使いながら、実感を伴う理解を促すようにする。</li> </ul>	よく見る！よく読む！

令和5年度 全国学力・学習状況調査 数値目標
全体【80】 エネルギー：70 粒子：80 生命：88 地球：85

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
【課題1】							
学年・方法		3年 太陽の光を調べよう	6年 全国学力再テスト	全学年 標準学力検査	3~6年 全国学力再テスト 大問3(1)		
目標値		単元末テスト 平均 80点以上		全国平均を上回る			
実施後数値					3~5年 70% 6年 85%		
【課題2】							
学年・方法			5年 天気とわたしたちの暮らしを考えよう 6年 全国学力再テスト	全学年 標準学力検査	4~6年 全国学力再テスト 大問4(3)		
目標値			単元末テスト 平均 80点以上	全国平均を上回る			
実施後数値					4・5年 70% 6年 85%		